

門真市障がい者福祉センター
放課後等デイサービスすてっぷ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちやご家族に寄り添える支援を行い、多くの人々のお役に立ち、心の安らぎと豊かな生活環境を提供する。											
支援方針		子どもたちが社会に出て、胸を張って生活できるよう支援する。また、広い視野を持てるように他者との関わりを深める。											
営業時間		平日	11		0		17		0		送迎実施の有無	あり	なし
	祝日	9	時	0	分から	16	時	0	分まで				
	長期休み	9		0		17		0					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	心身ともに安心して安全な生活が出来るように、身だしなみを整えたり、自ら生活の基本動作が学べるように支援を行う。 希望に応じて、ご家族の介助負担の軽減・清潔保持の一環として入浴サービスを実施する。											
	運動・感覚	ADLを向上または維持できるように、日常生活で行える動作等をプログラムとして取り入れる。段階的に身につけられるよう個々に適したプログラムを策定し支援を行う。 理学療法士等による機能訓練、または職員でもできるストレッチ支援が出来るように、レクチャーを受け支援に繋げていく。 紙粘土などの感覚遊びを取り入れることで、手先を動かす支援を行う。											
	認知・行動	集団生活における基本的なルールを体験しながら、子供たち同士で学びあい、身につけるように支援を行う。 学びの中から知りえた情報を、行動に移せるように職員の声掛け・子ども同士で助け合える環境を整える。											
	言語 コミュニケーション	基本のコミュニケーションは元気な挨拶からと考え、自分の思いを発声できるよう、職員の声掛け等でコミュニケーション能力を高める。 その中で、活動等を通して子ども同士のトラブルなども肯定的に考えながら、仲介しお互いを思いやれるような支援を実施する。 また、自分の思いが声で出せない子どもに対して、表情の変化を素早く読み取り、本人に問いかけながら対応していく。											
	人間関係 社会性	他児と関われない児童に対して、集団で遊ぶ楽しさを感じてもらえるように職員が仲介し、他児との橋渡しを行う。 また、学校生活とは違う集団活動を行い、様々な特性を知り得た職員が介入することによって、円滑なコミュニケーションが図れるよう支援する。											
家族支援		情報を素早くキャッチし、関係機関等との連携を取りながらお困りごとに対して 解決策を見つける。							移行支援		卒業後の受け入れ先へのスムーズな支援へ繋げるために情報共有をする。		
地域支援・地域連携		お祭りや児童クラブとの交流など、地域交流を図る事で、 地域で豊かに生活をする為に、お互いを知る機会を作る。							職員の質の向上		送迎から現場に入るまで、業務全般をスムーズに行えるよう、定期的な研修を実施。 心身ともに健康でいられるように、メンタルケア・体調管理も含め定期的な 面談を行う。		
主な行事等		ふれあい祭り・クリスマス会・運動会・ハロウィン仮装大会・水遊び・お散歩											